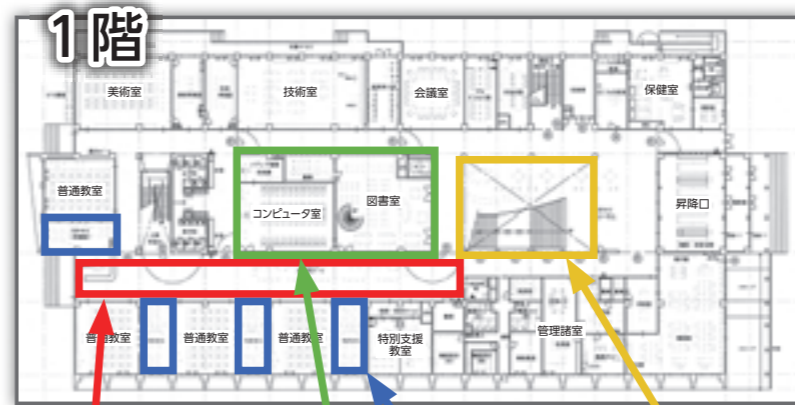


新しい中山中学校に 中学生の意見を反映



現段階の新校舎イメージ図

自分たちの足跡の「形」は？
発表意見 遊具？敷地内に木を植える？今の学校のミニチュア？

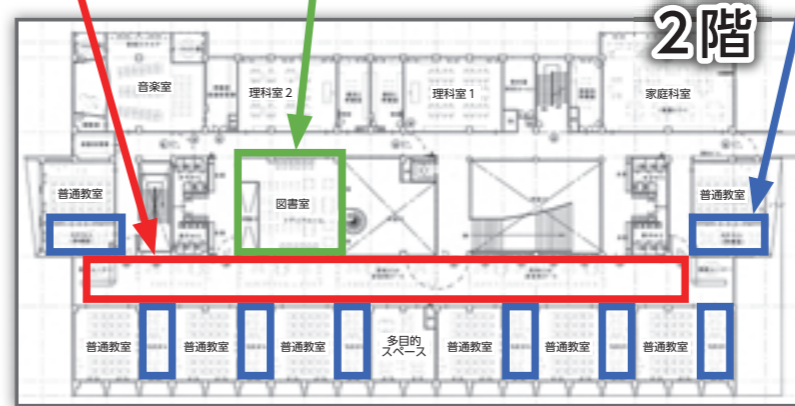


メディアセンターの使いみちは？
発表意見 コンピュータを自由に使いたい。勉強したいときに使いたい。

ひまわりフォーラムの使いみちは？
発表意見 文化祭などの個人発表の場、集会や作品展示、映画等の上映、応援練習

学年ユニットの使いみちは？
発表意見 作品の展示、学年集会、交流の場、部活のミーティングや相談

ロッカールームの使いみちは？
発表意見 男女別に着がえができ、自分の持ち物を置ける。物置としても使いたい。



※平面計画は検討中のものです。



中山中学校の改築は平成26年度建設着手、27年度完成を目指し現在設計が進んでいます。その中に現役中学生の意見や考え方を盛り込むため、

8月8日、中央公民館で中学生によるワークショップが開催されました。ワークショップには24名の生徒が参加。4つの班に分かれ、新校舎に設置を計画している「ロッカールーム」「学年ユニット」「メディアセンター」「ひまわりフォーラム」の使い方、新校舎に刻む自分たちの足跡の「形」の2つのテーマについて話し合い、発表しました。

7月中の雨量 観測史上最大

7月の豪雨は皆さんの記憶に残ったかと思いますが、7月の降雨量は1981年（昭和56年）の観測以来、最大を記録しました。例年、7月の平均降雨量は151mm程度ですが、今年はそれを倍以上上回る371.5mm。特に7月22日は午後4時40分から5時40分の1時間の雨量48.5mm、またこの日の1日の雨量も80.5mmと記録を更新。

7月は月・日・時間と観測史上最大の記録を出した月となりました。



豪雨により冠水した最上川せせらぎ公園

岩谷十八夜観音例祭



8月18日、岩谷地区にある岩谷十八夜観音で例祭が行われ、残暑の厳しい中、町内外から多くの参拝客が訪れました。

例祭は過去一時途絶えていましたが、岩谷観音史跡保存会（渡辺利喜雄会長）の皆さんが平成元年から復活させ、毎年8月18日に行われています。

恒例の火渡り儀式では住職が厳かに祈禱を行ったのち、境内中央に積み上げられた護摩木に火が焚かれます。それを崩し、塩をまき、場を清めた後に火渡りが行われます。訪れた参拝客は無病息災や家内安



住職の祈禱の中で魔よけの矢が放たれると、それを取ると、参拝客が集まりました。

岩谷十八夜観音とは…

岩谷十八夜観音は飛鳥時代に開かれ、837年に慈覚大師によって再興されたと言われています。目の病気を治す神様として広く信仰を集め、「オナカマ」と呼ばれる巫女（青森県でいうイタコ）の本山とされ、多くの人が祈禱に訪れました。祈禱に使われた道具や札、絵馬などは国の重要有形民俗文化財に指定され、今も町立歴史民俗資料館に保存されています。

全など、それぞれの願いを込めて、くすぶり続ける木の上を次々と渡っていました。